２　歳　　出

⑴　歳出の状況

当年度の歳出決算額は 83,931,341千円で、予算現額90,819,588千円に対して

執行率は92.4％(前年度81.0％)となっている。

支出済額は前年度に比べ1,714,171千円(2.1％)増加している。

これは主に、総務費で1,973,730千円(△24.1％)、衛生費で1,905,552千円(△27.6％)、

　　　農林水産業費で240,534千円(△22.8％)それぞれ減少したものの、民生費で1,933,436千円(9.2％)、教育費で1,689,468千円(17.2％)、土木費で1,286,222千円(7.6％)それぞれ増加したことによるものである。

公債

一般会計歳出款別構成状況　　　　　　　（単位：％）

平成26年度歳出決算額　83,931,341千円

※　(　)内は、25年度数値

一　般　会　計　歳　出



当年度の各款の支出済額にかかる対前年度増減についての主な要因は、次のとおりで

ある。

　民生費の増加の主な要因は、私立保育所施設整備事業補助金、私立保育所耐震化整備事業補助金、児童手当等が減少したものの、新たに、臨時福祉給付金給付事業費、子育て世帯臨時特例給付金給付事業費が増加したことに加え、地域介護・福祉空間整備等補助金、二上守山統合保育園建設事業費等がそれぞれ増加したことによるものである。

　土木費の増加の主な要因は、高岡駅周辺地区整備事業費等が減少したものの、街路整備事業費、北陸新幹線対策事業費、戸出西部市営住宅建替事業費等が増加したことによるものである。

　教育費の増加の主な要因は、事業完了に伴い(仮称)高岡市市民交流スポーツ広場整備事業費が減少したものの、学校施設耐震化事業費、学校施設天井等落下防止対策事業費等が増加したことによるものである。

款　別　決　算　状　況

（単位：千円・％）



総務費の減少の主な要因は、合併地域振興基金積立金、福岡駅前地域交流センター整備事業費等が増加したものの、まちづくり基金積立金、並行在来線対策事業費、戸出・伏木地区コミュニティ施設整備費等が減少したことによるものである。

衛生費の減少の主な要因は、予防接種事業費、ごみ減量化・資源化促進事業費等が増加したものの、急患医療センター整備事業費、高岡地区広域圏事務組合分担金等が減少したことによるものである。

農林水産業費の減少の主な要因は、県単農業土木事業費、森林整備・林業再生基金事業費等が増加したものの、福岡農村環境改善センター耐震補強等事業費、農地利用集積事業費等が減少したことによるものである。

一　般　会　計　歳　出　款　別



・　節　別　一　覧　表

（単位：千円・％）



⑵　繰出金の状況

特別会計への繰出金は、国民健康保険事業会計等の５事業会計に対して

4,092,444千円を繰り出しており、前年度に比べ211,266千円(5.4％)増加している。

　　　 これは主に、駐車場事業会計で41,452千円(△17.6％)減少したものの、国民健康保険事業会計で139,673千円(13.8％)、介護保険事業会計で77,847千円(3.5％)

それぞれ増加したことによるものである。

一般会計から特別会計への繰出金

（単位：千円・％）

